

「団長の独り言・第三十八回公演

「ざ・クリンキーパー」

「今は我慢ですね」

感染拡大に歯止めが効かず、見えない敵との戦いが続く。

そんな中、第38回公演「ざ・クリンキーパー」の脚本が完成。

予定では4月12日(日)、都内某所に出演者全員集合し、今後のスケジュールと簡単な読み合わせを行うつもりだったのだが、感染者の数がどんどん増え続け、ついには「緊急事態宣言」が発令・・・

それでも「稽古がしたい」「読み合わせをしましょう」って声が私の元へ届く。気持ちにはよく分かる！だって私自身、そうなんだからね。しかし、今は「人の動きを制御する」という東京都の強い指示に従うべきだと思うし、みんなにも命掛けで都内某所に集まってもらわなければならない・・・そこで12日の集いの延期を決定した。

今は我慢の時なのでしようがないけど、出るのはため息ばかり・・・

大体延期って言っても、いつたいいつまで延期したらいいのか？

緊急事態宣言が一旦終了する5月7日以降から稽古場が絶対使えるという保証はまったくないし、皆が電車移動を心配する事なく、稽古場へ通える状態になっているかどうかというのも、今はまったく分からない。

「この先、どうしたらいいんだあ！」って叫びたいが、叫んで、しよげて、不貞腐れて、ボケーンとして時間をもつたいたい。先の分からぬ未来を憂いでいるよりも、今出来る事は何か？今やらねばならない事は何か？リストアップして、ひとつひとつ実行しなきゃね。

出演者の皆さんは、郵送した仮台本を徹底的に読み込んでいただき、稽古がスタートした暁には、役のセリフが入っているくらい勢いで、日々の自主稽古に挑んでもらいたい。

って！その前にまずはキャスティングだあ！キャスティングもしていないのに、「役のセリフを

入れておいて」ってのは、そりゃー無茶ですわ。

まあーでもね、私の中では「この役はこの人」ってのは、大方決まってはいるんだけどね。

何せほら、今回の「ざ・クリンキーパー」に出演してくれるメンバーのほとんどが、前回公演「明日への旅路」に出演してくれたメンバーか、過去に劇団ふあんハウス作品に出演したメンバー達。

出演者の特徴や芝居の癖など、すべて把握しているから「当て書き」で脚本の修正作業を行ったのだ。

(当て書き・・・その役を演じる俳優をあらかじめ決めておいてから脚本を書くこと。)

ただ・・・「当て書き」をしたとは言えども、新しく参加してくれる数名のメンバーの方が、どんな芝居をするのかは全くもって未知数なわけで、そのメンバー達の個性によっては、キャストの組み合わせも変化する可能性大。

だから実際に声を出してもらいうまで「この役」って決められないってのもある。

そのためにも、12日の集いは行いたかったんだけどなあ・・・。キャストが決定すれば、稽古日数が減った分、次回の稽古までに、必ずセリフは入れておいて！と言えたのだが・・・。

いずれにしても、一緒に芝居を行うみんなと早く会いたいですな。現時点では5月9日(土)に集まる予定。
ただ正直この日もどうなるか分からない。
だからと言って、動きを止めるわけにもいかない。

たとえ稽古場に皆が集まれないとも、演劇公演を行う者として、「今、何をすべきか？」を考え、モチベーションを落とさないように、そして感性和体力が衰えないように、ダラダラした生活を送ることなく、努力を惜しまず、色々鍛えましょうね。

こんな時だからこそ、「夢」「希望」「勇氣」、そして「元氣」の詰まった「ざ・クリンキーパー」を必ずや上演するために！明るく！前を向きましょうや。